

令和7年度 病害虫発生予察情報

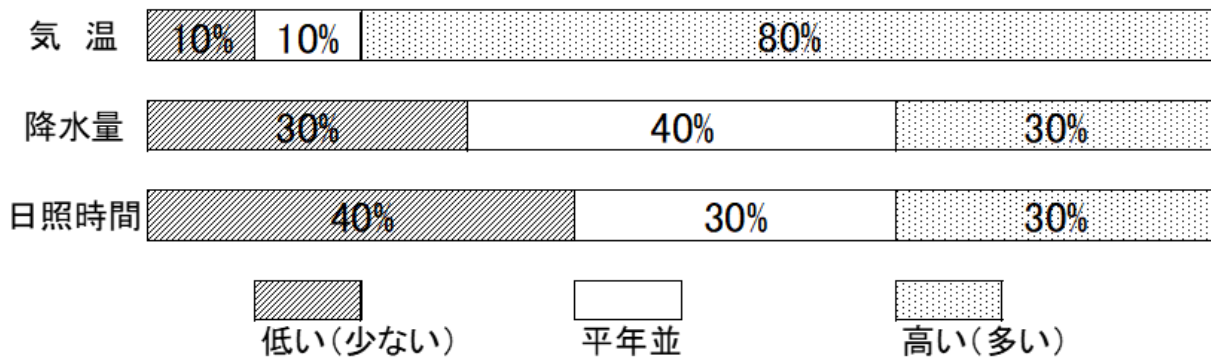
発生予報第8号（10月）

令和7年10月6日
島根県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
果樹	カキ	炭疽病	やや多い～多い
		カメムシ類	平年並
野菜	キャベツ	黒腐病	平年並
		菌核病	少ない
	アブラナ科野菜	コナガ	平年並～やや多い
		ハスモンヨトウ	平年並～やや多い

中国地方1か月予報(10月4日～11月3日・広島地方気象台10月2日発表)
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 果樹

1) カキ

(1) 炭疽病

予報内容

発生地方

県内カキ栽培地帯

発生量

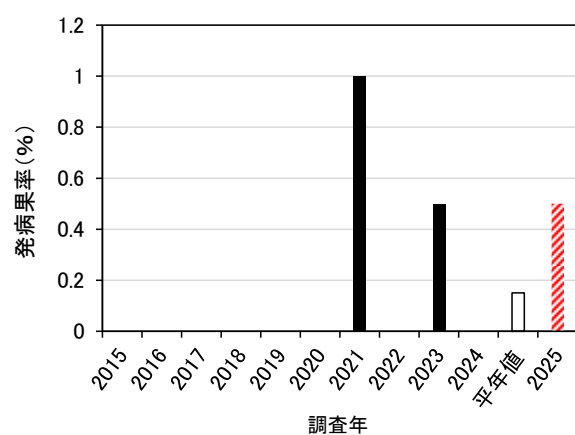
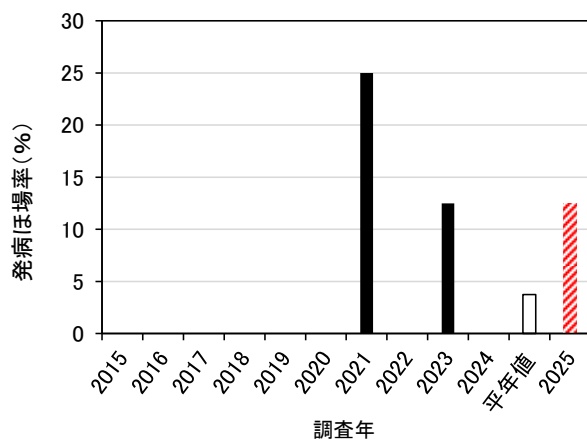
やや多い～多い

予報の根拠

① 9月下旬の巡回調査（8ほ場調査）では、発生ほ場率12.5%（平年3.8%）、発病果率0.5%（平年0.15%）と、発生量は過去10年で2番目に多い。

② 10月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

注）令和7年度 病害虫発生予察情報 注意報 第2号参照



(2) カメムシ類

予報内容

発生地方

県内カキ栽培地帯

発生量

平年並

予報の根拠

① 9月第1半旬から10月第1半旬までの予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は607頭（平年485.5頭）と発生量は平年並み。

② 9月下旬の巡回調査での累積被害果率は、0.5%（平年2.2%）と平年に比べてやや少ない。

③ 10月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並

予報の根拠

① 9月下旬の巡回調査では、発生ほ場率が4.5%（平年発生ほ場率3.1%）と、発生量は平年並みである。

② ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生量は、平年並み～やや多いと予想されている。

③ 10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

少ない

予報の根拠

① 9月下旬の巡回調査では、発生は確認されておらず（平年発生ほ場率1.3%）、発生量は平年に比べて少ない。

② 10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並～やや多い

予報の根拠

① 9月下旬の巡回調査では、アブラナ科野菜での本種の発生ほ場率は県東部で10.0%（平年14.0%）、寄生株率は1.0%（平年2.6%）、県西部でそれぞれ12.5%、5.0%と、発生量は平年並みである。

② 10月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並～やや多い

予報の根拠

① 9月下旬の巡回調査では、アブラナ科野菜での本種の発生ほ場率は県東部で20.0%（平年30.1%）、寄生株率は2.0%（平年6.6%）、県西部ではそれぞれ62.5%、17.5%と発生量は平年並みである。

② 7月以降のフェロモントラップによる累積雄成虫誘殺数は、県東部で1241頭（平年1121.2頭）、県西部で431頭（平年1192.1頭）とやや少ない。

③ 10月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

島根県病虫害防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)

〒693-0035 出雲市芦渡町 2440

TEL : 0 8 5 3 - 2 2 - 6 7 7 2

FAX : 0 8 5 3 - 2 4 - 3 3 4 2

ホームページアドレス :

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/